

第268回ゴム技術シンポジウム

次世代燃料電池自動車用高圧水素貯蔵システムに求められるゴム・エラストマー材料

主催：一般社団法人日本ゴム協会研究部会 水素機器用エラストマー材料研究分科会  
協賛：日本化学会、高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本材料学会、日本接着学会、  
日本機械学会、日本合成樹脂技術協会、日本レオロジー学会、日本複合材料学会、  
プラスチック成形加工学会、マテリアルライフ学会、日本トライボロジー学会（順不同）

燃料電池自動車の市場投入から5年が経過し、今後のさらなる普及拡大に向け、次世代の燃料電池自動車、水素インフラの開発・整備が進められている。このような状況下、2030/40年を見据えた次世代燃料電池自動車に搭載される高圧水素貯蔵システムに求められるゴム・エラストマー材料の開発が急務となっている。本シンポジウムでは2030/40年を見据えた次世代燃料電池自動車に要求される高圧水素貯蔵システムの開発動向を踏まえ、特に高圧水素タンクや高圧水素ホースの構成材料として使用される高分子材料の開発動向、要求特性、高圧水素環境下での高分子材料の挙動の評価事例などを紹介する。

日時：2020年9月11日（金）10:00～17:00  
会場：大阪大学中之島センター10階 佐治敬三メモリアルホール（大阪市北区中之島4-3-53）  
Web会議システム（Zoom）を利用したWebセミナー（ウェビナー）を同時に開催いたします。  
受講料：日本ゴム協会会員・協賛団体会員 24,200円 日本ゴム協会学生会員 5,500円  
シニア制度対象会員 12,100円（60歳以上の正会員） 会員外 33,000円  
※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属が法人としてゴム協会員（賛助会員）  
の場合は1口2名まで会員扱いの受講料で受け付けます。  
※受講料は大阪会場/Webセミナー共通、消費税・テキスト代を含みます。  
定員：大阪会場：35名（定員に達し次第締め切ります。大阪会場が定員に達した後もWebセミナーはお申込みいただけます）

申込要領：弊会ホームページ<https://www.srij.or.jp/>よりお申込みください。  
お申込み時に大阪会場/Webセミナーのどちらへご参加希望かをお選びください。  
<大阪会場の方>受講票を発行・送付いたします。当日会場へお持ちください。  
<Webセミナーの方>9月1日（火）以降に参加用URLをお送りいたします。  
テキスト：開催前に弊会ホームページに掲載し、閲覧用PWをお知らせいたします。テキスト配付に相当いたします閲覧用PW通知後のキャンセルはお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。また、印刷版のテキストを大阪会場ご来場の方は当日受付で手渡し、Webセミナー受講の方には9月4日（金）以降順次発送いたします。  
送金方法：銀行振込（三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会）。  
振込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

お問合せ：一般社団法人日本ゴム協会 第268回ゴム技術シンポジウム係  
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階  
TEL：03-3401-2957 FAX：03-3401-4143 E-mail：[kenkyuubukai@srij.or.jp](mailto:kenkyuubukai@srij.or.jp)

演 題 講 師

- ※プログラム詳細は来月号に掲載いたします。
- 「2030/2040年に向けた水素貯蔵技術開発におけるチャレンジ（仮題）」 トヨタ自動車㈱ 高見 昌宜 氏
  - 「高圧水素タンクライナー材の水素特性評価」 九州大学工学研究院 教授 西村 伸 氏
  - 「高圧水素タンクライナー材の開発」 滋賀県立大学 徳満 勝久 氏  
高圧水素タンクライナー材料として期待されているEVOH系材料を用いたブレンド材料の各種物性評価結果について報告する。
  - 「熱可塑性樹脂材料の放射線架橋（仮題）」 (国研)量子科学技術研究開発機構 前川 康成 氏
  - 「高圧水素環境中での赤外吸収測定（仮題）」 大阪大学 金子 文俊 氏
  - 「樹脂材料の疲労特性（仮題）」 山形大学 栗山 卓 氏

※今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況により、Webセミナーのみの開催となる場合がございます。

☆お申込みはホームページ<https://www.srij.or.jp/>からお願いします。